

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2 職員の配置数は適切であるか	○		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・職員のスキル指導、事業所内の運営と広く行っていた
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・利用できるツールはあるが、特定の職員しか実施しきれていない。ツールの紹介や使用方法などを研修で伝達するとよい
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・季節ごとで設定があり、利用者にも季節感がある活動の提供ができていた。園や家庭などでも提供する機会もあるため、方法を継続して提供したい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・できない分はラインでやっている ・毎日の実施が難しい時は、ラインなどを活用したり、事業所内で確認したいことをメモし情報共有を行っている。事業所内のメモは情報が引き継ぎやすいため、今後も継続したい。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	・できない分はラインでやっている
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・個別ケースごとに良かったこと、気になる様子などに沿って記録を残している。ケア前に確認との周知はあるが、十分でない部分は口頭伝達で補完している
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・ミーティング時にモニタリングを実施している。時間の兼ね合いで全員が難しいこともあるので、事前に議案を共有し意見を考えておく、集めておくなどの工夫で時短を狙ってもよいかと。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・今年度は関係者会議の実施はなかった
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・基幹相談への連携あり。事業所内でも知識を深めたり、相談支援事業所の職員へアドバイスを求める等で、連携すべきタイミングや頻度の相談を行う。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
関係機関や保護者との連携	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	・スマイルプランでの実施	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・今年度は幹事として職員が参加した
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・面談を月に1回は出来るようにしたことで、より綿密に家庭の状況把握に繋がった。また、困り箇所に対して対応見学の提案にもつながったので継続して実施したい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・コロナも落ち着いてきたので参観日が復活できればいい ・家族支援を前面に押し出さず、まずは見学から実施していただくことで職員も状況に慣れやすいし保護者も気軽に足を運びやすくなると思われる。
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に読み上げながら漏れのないよう伝えている
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・作成時に説明し、不明点はその場で解消できるようにしている
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・面談時に実施している。面談の頻度は月に1度を目標に実施していきたい
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・コロナも落ち着いてきたので、今後実施できたらいい
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・急な相談の要望があった際には、面談だけでなく電話など方法を柔軟に対応している
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報に要する書類は、鍵付き棚で保管している
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・体験会を催したが参加希望はなかった
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・感染症など時期を鑑みて実施時期を調整する工夫をしている。 ・必要なマニュアルを作成すると共に、ロールプレイをしながら実際場面で動くことを想定した研修を実施している
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・月に1度実施がある。戸外避難だけでなく、防災頭巾を被るなど避難訓練に関係する動きも取り入れて実施しているが、頻度を上げていきたい。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・アセスメントとして利用開始前に情報収集をしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・虐待防止委員会を活用し、慎重に対応を検討し組織で決定している。その後、保護者に説明をし了承を得る対応を行った。引き続き、対応に困ったり悩んだりする対応は虐待防止委員会を活用して決定していく。